助成事業細目	ドーピング検査推進事業	ーピング検査推進事業										
<b>切</b> 风争未和日	ドーピング検査事業											
助成事業者名	一般社団法人 日本バイア	スロン連盟										
事業名	平成28年度ドーピング検査	事業										
実施した事業の成果	選手個々に対して、一定のに、選手自身の健康を阻害 ちに対する感謝の気持ちを	することを理解させ、	并せて、スポーツ活									
実施した事業に対する評価	デーピングによる不正をより効果的に抑止ならび防止することにより、競技者ならびに大会のクリーン・公平性 証明するために行った。検査は無事に完了し、現在までのところ防止規則違反の報告はない。											
		平成28年	度目標	平成28年	度実績							
		12	件	12	件							
実施した事業の内容	2)第87回宮様スキー大会国際	実施事業の内容〕 第28回サマーバイアスロン日本選手権大会: 平成28年10月2日、札幌市西岡競技場、対象者4名 第87回宮様スキー大会国際競技大会 バイアスロン競技: 平成29年3月5日、札幌市西岡競技場、対象者4名 第52回バイアスロン日本選手権大会: 平成29年3月12日、札幌市西岡競技場、対象者4名										
事業の実施状況及び実施結 果並びに助成金の使途に関 する情報の公開	情報の公開方法 (複数選択可)	□ HPで公開 □ 広報誌・会報誌等で □ 情報開示請求がある □ 事務所等に備え、自 □ その他 □ 特段の情報の公開(	た場合に開示 由に閲覧できる環境を (	整備(理由:	)							
	公表した内容 (複数選択可)	<ul><li>→ 事業の実施結果(財</li><li>→ 助成金の使途に関する</li></ul>	成金の交付を受けた旨	る旨を記載し、事業の進ま まを記載し、事業の完了報 (付決定額)及び何に使用 (理由:	告を公開)							
事業実施後に 参加者等に対する 満足度調査を行ったか	□ 行った ☑ 行わなかった	実施方法										
備考												

	助成事業細目	スポーツ活動推進事業														
	<b>奶</b> 灰争未幅日	スポーツ教室	室、ス7	ポーツ大	会等	の開催										
	助成事業者名	日本バイフ	アスロ:	ン連盟												
	事業名	ミニバイフ	アスロ	ン競技倶	知安	大会										
	事業の成果	後志管内市会の目的、この音の音の音の音の音の音の音の音の音の表示できません。特に、対けはでなった。	ミニバー 的とし <sup>1</sup> 者同士の 来年の <sup>3</sup>	イアスロ て、誰で の交流を 平昌五輪	ンも 図・ 将	会を実 加出とも 来バイ	施してる競技にスロ	し、ととまして しししの	・中学 てPRし い生活 世界を	生や一般 バイアス ・運動 目指し	設社会スロン 習慣の てる地	人に 対競技 対定着 地元出	対して を通し 助長さ	バイ: て健! せる:	アスロ 東な体 ことか	コン競技 はと心を べでき
	事業に対する評価	本大会は好きた。 参加数に対 の他に、エフ たい。	対する!	レザーラ	イフ	ルの数	の不足	己によ	り待ち	時間が多	多くあ	うった	∶。来年	F度は、	レー	-ザー銃
	開催期間・開催日	平成 29	年	3	月	11	日	~	平成	29	年	3	月	12	Е	l
	主催者	一般社団法人	人日本/	バイアス	ロン	連盟										
	共催者	北海道バイフ	アスロ	ン連盟												
	開催場所	俱知安町旭 4	ァ丘クリ	ロスカン	トリ	-=-	ス									
		関係団体へのポスター・チラシの配布、HP丈のページでの告知を行った。														
	参加対象者															
実			崔期間内 業実施回			1		回	<u> </u>							
施 し た		平± (スタッフ	匀参加者		,	67	 !	人	‡ ! !	総参	≽加人	数			67	人
事 業		``、 世代 性別 ``、	1	0~19歳		22	0~39	歳 歳	34	10~59歳	表		④60歳	ŧ~	<u> </u>	合計
の 内		男性	; !	37			2		<b>+</b>	10					†	49
容	参加者数 スタッフ数	女性	     	18					L ! !						†	18
	77 7 7 3A	計	     	55			2		†	10			0		Ī	67
		地域住	民の参	加人数		40	)	人		地域住	民参加	11割合	ì		9. 7	%
		障がし	ハ者参加	人数		0		人	†   	障がい	者参加	11割台	ì		0. 0	%
		実施日における運営スタッフ(請 負業者を除く)平均参加人数			16	 6	人	参加者	≸に対す σ	トる運 O割合		タッフ	2	23. 9	%	
	緊急体制	□ 医師が行	诗機	□ 看護	師が行	寺機 [	/ 会場	∄(こAEI	つを設置	□討	核当なし	b				
	くじ助成金以外の収入増加に 向けた取組み	<ul><li>□ 行った</li><li>☑ 行わなか</li></ul>	かった	取組内	容											

	nh 代事	業細目	スポーツ活動推進事業							
	助戍争	未和日	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催							
	助成事	業者名	日本バイアスロン連盟							
	事	業名	ミニバイアスロン競技倶知安大会							
	事		✓ HPで参加者募集を告知した							
	業の	事業を広報・PR	□ 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知をした							
	・ 業実施計 計	するための手段	✓ 広くチラシを配布した							
	計表画	(複数選択可)	√ 特定の個人・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた							
	Ш		□ 事業の実施に際し、特段の広報・PRは行わなかった							
	事品	情報の公開方法 (複数選択可)								
情	事業の実施状況及助成金の使途には		□ 広報誌・会報誌等で公開							
報公			✓ 情報開示請求があった場合に開示							
開			✓ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備							
	況 及 思		□ その他 ( )							
	及び実施結果並びに関する情報の公開		□ 特段の情報の公開は行っていない 理由: ( )							
	施情		□ 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開)							
	単報	公表した内容	✓ 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開)							
	並公び盟	(複数選択可)	□ 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開)							
	に <sup>開</sup>		□ 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: ( )							
	実施後に参加: 度調査を行っ	者等に対する たか	□ 行った ☑ 行わなかった 実施方法							
		考								

<sup>※</sup>本報告書はA4サイズ2枚で印刷してください。

	助成事業細目	スポーツ活動推進事業														
	<b>奶</b> 灰争未幅日	スポーツ教室	室、ス7	ポーツ大	会等	の開催										
	助成事業者名	日本バイフ	アスロ:	ン連盟												
	事業名	ミニバイフ	アスロ	ン競技倶	知安	大会										
	事業の成果	後志管内市会の目的、この音の音の音の音の音の音の音の音の音の表示できません。特に、対けはでなった。	ミニバー 的とし <sup>1</sup> 者同士の 来年の <sup>3</sup>	イアスロ て、誰で の交流を 平昌五輪	ンも 図・ 将	会を実 加出とも 来バイ	施してる競技にスロ	し、ととまして しししの	・中学 てPRし い生活 世界を	生や一般 バイアス ・運動 目指し	設社会スロン 習慣の てる地	人に 対競技 対定着 地元出	対して を通し 助長さ	バイ: て健! せる:	アスロ 東な体 ことか	コン競技 はと心を べでき
	事業に対する評価	本大会は好きた。 参加数に対 の他に、エフ たい。	対する!	レザーラ	イフ	ルの数	の不足	己によ	り待ち	時間が多	多くあ	うった	∶。来年	F度は、	レー	-ザー銃
	開催期間・開催日	平成 29	年	3	月	11	日	~	平成	29	年	3	月	12	Е	l
	主催者	一般社団法人	人日本/	バイアス	ロン	連盟										
	共催者	北海道バイフ	アスロ	ン連盟												
	開催場所	俱知安町旭 4	ァ丘クリ	ロスカン	トリ	-=-	ス									
		関係団体へのポスター・チラシの配布、HP丈のページでの告知を行った。														
	参加対象者															
実			崔期間内 業実施回			1		回	<u> </u>							
施 し た		平± (スタッフ	匀参加者		,	67	 !	人	‡ ! !	総参	≽加人	数			67	人
事 業		``、 世代 性別 ``、	1	0~19歳		22	0~39	歳 歳	34	10~59歳	表		④60歳	ŧ~	<u> </u>	合計
の 内		男性	; !	37			2		<b>+</b>	10					†	49
容	参加者数 スタッフ数	女性	     	18					L ! !						†	18
	77 7 7 3A	計	     	55			2		†	10			0		Ī	67
		地域住	民の参	加人数		40	)	人		地域住	民参加	11割合	ì		9. 7	%
		障がし	ハ者参加	人数		0		人	†   	障がい	者参加	11割台	ì		0. 0	%
		実施日における運営スタッフ(請 負業者を除く)平均参加人数			16	 6	人	参加者	≸に対す σ	トる運 O割合		タッフ	2	23. 9	%	
	緊急体制	□ 医師が行	诗機	□ 看護	師が行	寺機 [	/ 会場	∄(こAEI	つを設置	□討	核当なし	b				
	くじ助成金以外の収入増加に 向けた取組み	<ul><li>□ 行った</li><li>☑ 行わなか</li></ul>	かった	取組内	容											

	nh 代事	業細目	スポーツ活動推進事業							
	助戍争	未和日	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催							
	助成事	業者名	日本バイアスロン連盟							
	事	業名	ミニバイアスロン競技倶知安大会							
	事		✓ HPで参加者募集を告知した							
	業の	事業を広報・PR	□ 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知をした							
	・ 業実施計 計	するための手段	✓ 広くチラシを配布した							
	計表画	(複数選択可)	√ 特定の個人・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた							
	Ш		□ 事業の実施に際し、特段の広報・PRは行わなかった							
	事品	情報の公開方法 (複数選択可)								
情	事業の実施状況及助成金の使途には		□ 広報誌・会報誌等で公開							
報公			✓ 情報開示請求があった場合に開示							
開			✓ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備							
	況 及 思		□ その他 ( )							
	及び実施結果並びに関する情報の公開		□ 特段の情報の公開は行っていない 理由: ( )							
	施情		□ 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開)							
	単報	公表した内容	✓ 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開)							
	並公び盟	(複数選択可)	□ 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開)							
	に <sup>開</sup>		□ 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: ( )							
	実施後に参加: 度調査を行っ	者等に対する たか	□ 行った ☑ 行わなかった 実施方法							
		考								

<sup>※</sup>本報告書はA4サイズ2枚で印刷してください。

	助成事業細目	スポーツ活動推進事業														
	<b>切</b> 风争未 <b>栖</b> 日	スポーツ教園	室、スポ	ピーツ大き	会等	の開催										
	助成事業者名	日本バイフ	アスロン	ノ連盟												
	事業名	ミニバイフ	アスロン	ノ競技東.	川大:	会										
	事業の成果	道 記 記 記 記 記 だ れ で 大 で 大 撃 人 が で 大 撃 を を り い い い た う り り り り り り り り り り り り り り り り り り	本験し第 コン大会 対撃に 野 大会 サーバ	楽しんで 会への参う 興味天候 コ変え、	も加つ(参加)	った。 が増達	特に小ではなる。増えて響いた。	ト学を を 参 で で で で で で で で え で で え で で え で で え で で え で で え で れ に で れ に で れ に の に る に に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る 。 に る に る に る に る に	の参加 じた。 者がれ され ローラ	者が増 バイき えてき ールキ	えアたの一年の一種	年の ロン射 を行 を全	継続参撃の早いてラン	加者や 打ち = に に に と に と に と た り た り た り り り り り り り り り り り り り り	シン学で	手間を通 テストに されるBB
	事業に対する評価	毎年参加し して大会の記 今年で5回 スで後、継続的	忍知度 <i>た</i>  目の開 入れ替れ	が高まっ 催となり っる等、	て来 リ、総 レベ	た事が <sup>援続参加</sup> ルの高	感じら n者の さがす	られる レベル	。 〜が上ヵ	いて来	きた。!	持に中	学生	参加者	は射	撃のミ
	開催期間・開催日	平成 28	年	8 ,	月	20	日	~	平成	28	年	8	月	21	E	3
	主催者	一般社団法。	人日本/	バイアス	ロン	連盟										
	 共催者	北海道バイフ	アスロン	ノ連盟												
	開催場所	上川郡東川田	町・キト	トウシ森	林公	園特設	会場									
	募集方法	関係団体へのポスター・チラシの配布、HP丈のページでの告知を行った。														
	参加対象者	連盟会員、一般会員														
実			崔期間内 業実施回			1	. — — — — —	回	 ! ! ! !							
施 し た		平 <sup>±</sup> (スタッフ	匀参加者 ・観覧			58	3	人	T ! ! ! ! !	総参	参加人	数		1	17	人
事業の		``、 <sub>、</sub> 世代性別	1	0~19歳		22	.0 <b>~</b> 39	歳	34	40~59j	歳	(	4)60歳	~		合計
内		男性		30			1								<u> </u>	31
容	参加者数 スタッフ数	女性		25			1						1		Ī	27
		計		55			2	_,	!	0			1		T	58
		地域住	民の参加	11人数		11	4	人	       	地域住	民参加	吅割合		19	96. 6	%
		障がし	ハ者参加	人数		0		人		障がい	者参加	吅割合		(	). 0	%
		実施日におけ 負業者を除			In A // n %											
	緊急体制	□ 医師が	<b>-</b> 待機 [	看護的	币が得	持機 [	/ 会場	 引にAEI	)を設置		亥当な	<u></u>	<b>-</b>		- <b>-</b>	<b>_</b>
	くじ助成金以外の収入増加に 向けた取組み	<ul><li>□ 行った</li><li>☑ 行わなた</li></ul>	かった	取組内	容											

	助成事	** 4 4 7 1	スポーツ活動推進事業
	······································	未相口	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催
	助成事	業者名	日本バイアスロン連盟
	事美	<b>集名</b>	ミニバイアスロン競技東川大会
	<b>+</b>		✓ HPで参加者募集を告知した
	事業の	事業を広報・PR	□ 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知をした
	・ 業実施計 計	するための手段	✓ 広くチラシを配布した
	計表画	(複数選択可)	✓ 特定の個人・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた
	Щ		■ 事業の実施に際し、特段の広報・PRは行わなかった
	事品	情報の公開方法 (複数選択可)	✓ HPで公開
情	業の実施の		□ 広報誌・会報誌等で公開
報公			✓ 情報開示請求があった場合に開示
開	施状況及		✓ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備
	況 及 思		□ その他 ( )
	及び実施結果並関する情報の公		□ 特段の情報の公開は行っていない 理由: ( )
	施情		□ 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開)
	異報	公表した内容	✓ 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開)
	並び開に	(複数選択可)	□ 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開)
	に開		□ 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: ( )
	実施後に参加: 度調査を行っ:	者等に対する たか	□ 行った ☑ 行わなかった 実施方法
		考	

<sup>※</sup>本報告書はA4サイズ2枚で印刷してください。

	助成事業細目	スポーツ活動推進事業 															
	<b>奶</b> 灰争未幅日	スポーツ教室	室、スポ	ポーツ大	会等	の開催											
	助成事業者名	日本バイフ	アスロン	/連盟													
	事業名	ミニバイフ	アスロン	<b>ン競技富</b>	山南	砺大会	•										
	事業の成果	・エントリー ・大会開催し てきていると	こは地え	元のスキ													
	事業に対する評価	・天候不順で り、今年も間 対が必とり・ 広報活力を利ける はを行う必要	直前に降 ある。 一者数に 責極的に	&雪によ は、学校 こ行う必	りな :行事	んとか と重な	、開催 つたが	≝でき ≿め前	た。じ 回と同 <sup>2</sup>	後、開 様に低	催時期 調だ。	月の検 近隣	討とが のスキ	大会自 F一関	体の 係団	開催(	の検 への
	開催期間・開催日	平成 29	年	3	月	4	B	~	平成	29	年	3	月	5		日	
	主催者	一般社団法。	人日本/	バイアス	ロン	連盟											
	共催者	富山県バイス	アスロン	/連盟													
	開催場所	富山県南砺市	市 タナ	<b>カンボス</b>	+-	場 上	:平バ~	イアス	ロン会	場							
	参加対象者	連盟会員、一般会員															
実			崔期間内 業実施回			1		回									
施 し た		平 <sup>は</sup> (スタッフ	匀参加者 ・観覧者			5:	2	人	†	総	参加人	数			67		人
事 業		*	1	0~19歳		22	20~39	 歳	34	40 <b>~</b> 59	歳	(	460歳	₹~		合言	 H
の内		男性	   	33			5		# ! !						Ť	38	}
容	参加者数 スタッフ数	女性	     	14					1     						Ť	14	ļ
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	計	 !	47			5			0			0		Ī	52	!
		地域住	民の参加	加人数		80	0	人		地域住	民参加	11割合	ì		153.	8	%
		障がし	ハ者参加	1人数		0	)	人	†	障がい	者参加	11割合	·		0.0		%
		実施日における運営スタッフ(請 負業者を除く)平均参加人数															
	緊急体制	□ 医師が	 師が彳	寺機 [	✓ 会場	 引にAEI	Oを設置		亥当な	<b>-</b> _	<b>_</b>				<b>-</b>		
	くじ助成金以外の収入増加に 向けた取組み	<ul><li>□ 行った</li><li>☑ 行わなた</li></ul>	かった	取組内	容												

	nh 代事	業細目	スポーツ活動推進事業							
	助戍争	未和日	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催							
	助成事	業者名	日本バイアスロン連盟							
	事	業名	ミニバイアスロン競技富山南砺大会							
	事		✓ HPで参加者募集を告知した							
	業の	事業を広報・PR	□ 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知をした							
	・ 業実施計 計	するための手段	☑ 広くチラシを配布した							
	計表画	(複数選択可)	] 特定の個人・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた							
	Ш		□ 事業の実施に際し、特段の広報・PRは行わなかった							
	事品	情報の公開方法 (複数選択可)	✓ HPで公開							
情	事業の実施状況及助成金の使途には		□ 広報誌・会報誌等で公開							
報公			☑ 情報開示請求があった場合に開示							
開			✓ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備							
	況 及 思		□ その他 ( )							
	及び実施結果並びに関する情報の公開		□ 特段の情報の公開は行っていない 理由: ( )							
	施情		□ 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開)							
	単報	公表した内容	☑ 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開)							
	並公び盟	(複数選択可)	□ 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開)							
	に <sup>開</sup>		□ 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: ( )							
	実施後に参加: 度調査を行っ	者等に対する たか	□ 行った ☑ 行わなかった 実施方法							
備考										

<sup>※</sup>本報告書はA4サイズ2枚で印刷してください。

	助成事業細目	スポーツ活動推進事業 										
	奶灰芋未籼口	スポーツ教室	室、スポーツ大会	等の開催								
	助成事業者名	日本バイフ	アスロン連盟									
	事業名	第26回東日本	<b>本バイアスロン選</b>	手権大会								
	事業の成果	ベフロ人とな 術力向上を目 も参加したな	なった。東北地方 目的に開催してい が、海外遠征中の	でのバイアスロン る大会である。次	6人、スーパースプ 競技会の開催により 期冬季オリンピック れず残念な一面もあ られた。	、バイアスロン競技 ピョンチャン大会を	の普及、技 目指す選手					
	事業に対する評価	に順位が入れ 射撃を重内で 現在、バイける 大会だけでも 銃刀法の規制	れ替わる戦いが行 した競技で選手は でのバイアスロン スロン日本選手権 あり、本大会には 別により銃の所持	われた。また、ス 射撃への集中力が 競技大会は札幌市 大会等と富山県南 遠くは鳥取県や福 が厳しく制限され	もあり相手を常に意 ーパース 大物 大物 は 水めにない、技術 方 水の はで開 では で で 所 すなど 本 を かい く が は な の で いく 必 要性 を 強 いく 必 感	技は、クロスカント 向上が図られた。 際スキー大会バイア 日本バイアスロン競 ていただいた。 アスロン競技普及の	ソーよりも アスロン競 技大会と本					
	開催期間・開催日	平成 29	年 1 月	27 日 ~	, 平成 29 年	1 月 28	日					
	主催者	一般社団法。	人日本バイアスロ	ン連盟								
	共催者	岩手県バイフ	アスロン連合									
	開催場所	八幡平市田山	山 バイアスロン	競技場								
	募集方法	参加者への募集要項による通知										
	参加対象者	連盟会員										
実			崔期間内の 業実施回数	1 🗈	]							
施 し た			匀参加者数 ・観覧者を除く)	35 人	、 総参加.	 人数	70 人					
事業の		``、、世代 性別 ``、、	①0~19歳	②20~39歳	③40~59歳	④60歳~	合計					
内		男性	0	5	18	6	29					
容	参加者数 スタッフ数	女性	2	2	1	1	6					
		計	2	7	19	7	35					
		地域住	民の参加人数	3 Д	、   地域住民参	*加割合 8	. 6 %					
		障がし	ハ者参加人数	0 Д	、 障がい者参	·加割合 0	0.0 %					
			る運営スタッフ(請 :く)平均参加人数	114 人	参加者に対する の割・		5.7 %					
	緊急体制	□ 医師が	待機 □ 看護師が	が待機 ☑ 会場にA	EDを設置 図 該当が	<b></b> ≩l	<b></b>					
	くじ助成金以外の収入増加に 向けた取組み	<ul><li>□ 行った</li><li>☑ 行わなた</li></ul>	取組内容									

	n d 审	業細目	スポーツ活動推進事業							
	<b></b>	未和日	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催							
	助成事	業者名	日本バイアスロン連盟							
	事美	業名	第26回東日本バイアスロン選手権大会							
	事		✓ HPで参加者募集を告知した							
	業の	事業を広報・PR	□ 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知をした							
	・ 業実施計 計	するための手段	☑ 広くチラシを配布した							
	計表画	(複数選択可)	☑ 特定の個人・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた							
	Щ		□ 事業の実施に際し、特段の広報・PRは行わなかった							
	事品	情報の公開方法 (複数選択可)	☑ HPで公開							
情	事業の実施状況及助成金の使途には		□ 広報誌・会報誌等で公開							
報公			✓ 情報開示請求があった場合に開示							
開			✓ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備							
	況 没に 及 <sub>即</sub>		□ その他 ( )							
	及び実施結果並びに関する情報の公開		□ 特段の情報の公開は行っていない 理由: ( )							
	施情		□ 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開)							
	押報果の	公表した内容	☑ 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開)							
	並公び記	(複数選択可)	□ 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開)							
	に開		□ 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: ( )							
	実施後に参加: 度調査を行っ:	者等に対する たか	□ 行った ☑ 行わなかった 実施方法							
備考										

<sup>※</sup>本報告書はA4サイズ2枚で印刷してください。

#### 活動報告書

【スポーツ団体大会開催助成】

	助成活動細目	競技会開催  競技力向上活動											
	助成決定者名	一般社団法人日本	バイアスロン	/連盟									
	活動名	第53回バイアスロ	ン日本選手権	€大会									
	活動の成果	昨年度から、海 年までと比べ盛り 増えることを期待 一般銃の部は、 た。また競技スピ	上がりを感し する。 スキー板の規	た。これ 見制を緩和	からも したこ	競技銃の参 とにより、	参加チー <i>』</i> 競技運営	ゝが増えせ なにかかる	世界を目指す 負担が大変約	競技人口が			
	活動に対する評価	1) 昨年より迅速2) 弾薬管理に関チーム及び勤務員3) ジュリーメン決された。	しては、昨年 の適切な行動	Fに続き、 bで事故な	厳密な	会を終了す	けることか	べできた。					
活動	第三者への 委任(事務委任等)の有無	□有 ☑無		三者への雰 委任先の収				の場合、	. 以下の記入	するととも			
の実	委任先の組織名称 												
施方法	委任の内容												
	開催期間・開催日	平成 29 年	3 月 2 日間)		日 ~	平成	29 年	≣ 3	月 12	B			
	大会種別	国際大会 総合競技大会	✓ 日本選の予選会を			国大会	<b>√</b> ‡	使ねていない					
	 主催者												
	 共催者	北海道パイアスロン連盟											
	開催場所	 北海道札幌市豊平区西岡 バイアスロン競技会場											
実	大会参加要件	連盟登録会員登録	選手	- <b></b> -									
施し		参加人参	 女	延べ29	99 人	.	参加 ※国際大			か国			
た活動の内容	活動の内容	・本大会の実施種目は、スプリント(競技スキー男女、自衛隊スキー)、リレー(競技スキーシングルミックス、自衛隊スキー)、パシュート(競技スキー男女)、スーパースプリント(自衛隊スキー)、チームコンペテーション(自衛隊スキー)の全6種目を行った。 ・大会運営は、役員24名、大会サポーター61名で行った。 ・大会の広報は、ポスター250枚・チラシを500枚毎作成し、50か所に配付郵送した。 ・表彰は、競技上位者に対して、各種目競技スキーは上位3名、自衛隊スキーは上位6名を表彰した。											
						4	丰度当初記	+画	実	 績			
		観戦者数				1	1, 000	人	1, 100	人			
	活動計画及び実績	助成金以外の事業	 収入額			1, 9	990, 000	円	1, 362, 00	00 円			
		団体選定の強化指定選手等の全参加者に占める割 13 % 13 合							%				
	大会に関する広報活動 (複数選択可)	<ul><li>□ ホームページ</li><li>□ その他 (</li></ul>	□ テレビC	M [	」広報媒	体への掲載	<b>龙</b>	SNS	<u> </u>				
	基金助成金以外の収入増加に 向けた取組み	<ul><li></li></ul>	取組内容										

#### 活動報告書

【スポーツ団体大会開催助成】

[XVII. NEW W.]			
助成活動細目			競技会開催
			競技力向上活動
助成決定者名		定者名	一般社団法人日本バイアスロン連盟
活動名		動名	第53回バイアスロン日本選手権大会
情報公開	活動の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	情報の公開方法 (複数選択可)	<ul> <li>✓ HPで公開</li> <li>広報誌・会報誌等で公開</li> <li>✓ 情報開示請求があった場合に開示</li> <li>✓ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備</li> <li>○ その他 (</li> <li>)</li> <li>特段の情報の公開は行っていない 理由: (</li> </ul>
		公表した内容 (複数選択可)	□ 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) ☑ 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) □ 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) □ 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: ( )
備考			

<sup>※</sup>本報告書はA4サイズ2枚で印刷してください。